

◎運営方式の比較

直営方式及び民間委託の対応について、市の現状や主なメリット・デメリットを踏まえ重要な項目の比較を行うと「表 3」のとおりである。

【表 3】

項目	直営方式	民間委託
人員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食安全管理及び調理作業員（調理員が今後数減が難しい。）を一度採用了な場合、少子化など人員調整が難しい。 ・嘱託職員や臨時職員に近年の人手不足を懸念する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の責任により、常に実施されることにより、適正な人員配置がしやすい。 ・日々の業務内容が柔軟な人員配置が可能。 ・ノウハウなどが他の事業者から得られる。
アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応食の対応は、対応が難しい。 ・アレルギー対応食の対応は、対応が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応食の対応は、対応が難しい。 ・アレルギー対応食の対応は、対応が難しい。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導が調理時に必要となる。 ・栄養指導が調理時に必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導が調理時に必要となる。 ・栄養指導が調理時に必要となる。
災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員が対応できる範囲内である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として事業者は災害時に発生する業務を遂行する義務を負う。 ・原則として事業者は災害時に発生する業務を遂行する義務を負う。
食中毒発生時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設で発生した場合、当該施設が賠償責任を負う。 ・当該施設で発生した場合、当該施設が賠償責任を負う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設で発生した場合、当該施設が賠償責任を負う。 ・当該施設で発生した場合、当該施設が賠償責任を負う。